

子どもたちの「生きる力」を育むために

Action (アクション)

～地域全体で子どもたちを支え、まちを元気にする一歩を踏み出そう～



『地域学校協働活動推進員』に委嘱されたけど、自信がないなあ。どんなことをすればいいの？

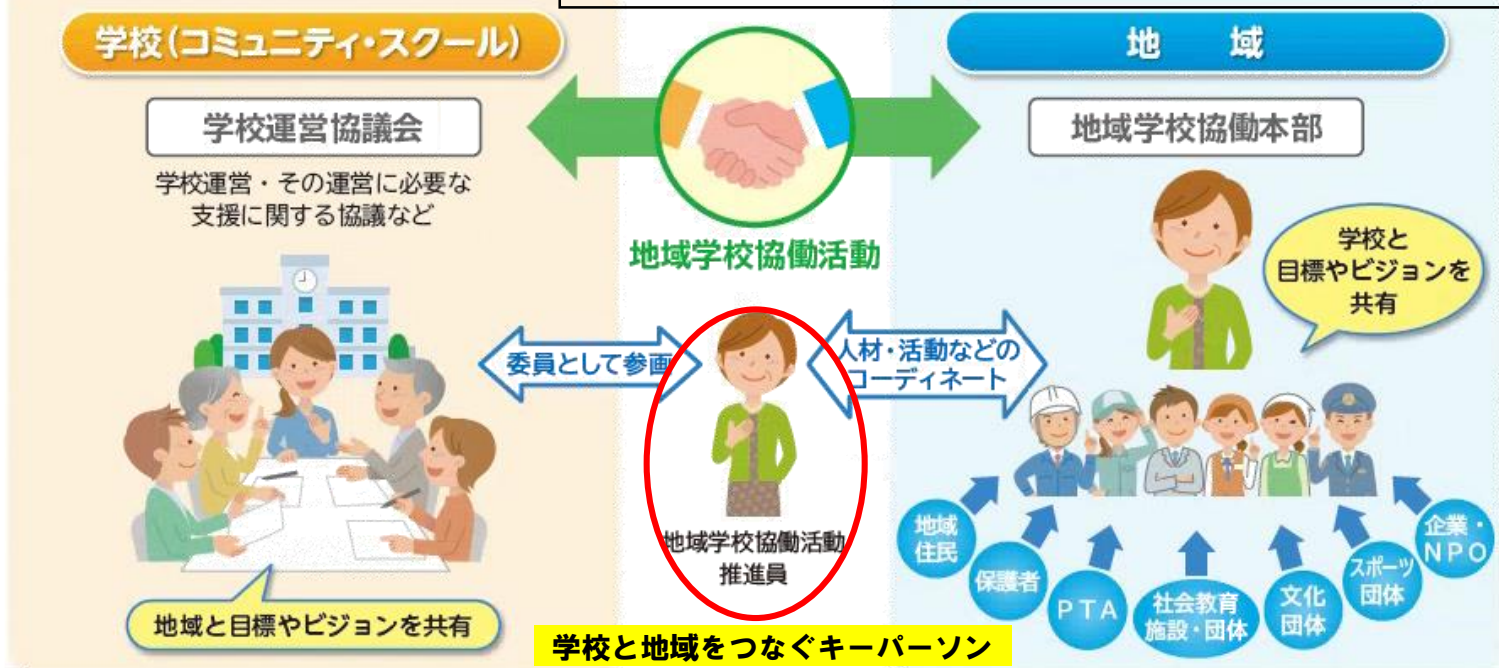
子どもが好きで学校や地域のことによく関わっていたけど・・・私なんかで本当に大丈夫かしら？



地域学校協働活動推進員

大々々! つながりを大切にしているあなたの取組や行動力が今**必要**とされています！

【参考】文科省「これからの学校と地域～コミュニティ・スクールと地域学校協働活動～」



地域には様々な人がいて、できることも多様です。地域学校協働活動推進員は、その地域住民と学校の架け橋となる存在となり、**学校運営協議会の委員**として参画したり、**地域連携担当教職員と情報を共有**したりして、確認したことや活動に対する思いを**地域学校協働本部と共有**し、円滑に地域学校協働活動を行っていくようにしましょう。また、多様な地域住民とネットワークで構成されている地域学校協働本部の思いが、学校運営協議会で共有・反映されるように**地域の思いや願いを学校や先生に届けて**いきましょう。

推進員の皆さんに心がけてほしいこと

情報収集

学校のニーズや教職員、保護者や地域住民の思い、地域の教育資源等を収集

つながりづくり

ボランティアと教職員、ボランティアとボランティアの関係づくり

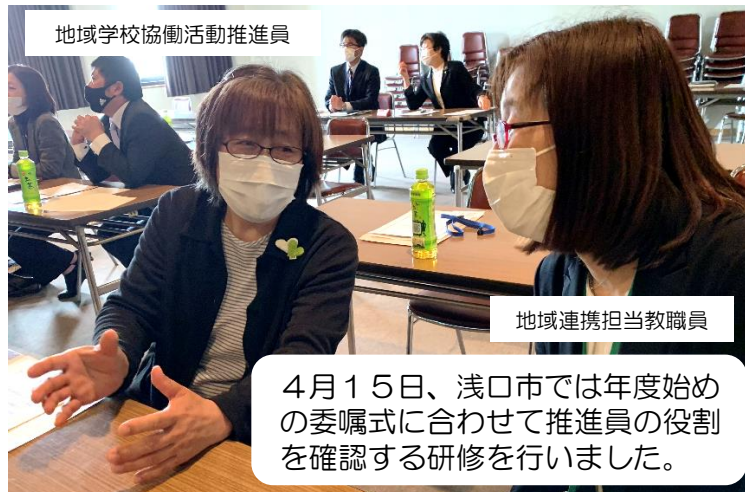
マネジメント

協働活動の打合せや研修や情報交換等の場の計画や設定

情報発信

協働活動に対する教職員や推進員の思いを地域に発信

定期的に情報交換やミニ研修を！

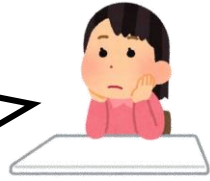


地域学校協働活動推進員

地域連携担当教職員

4月15日、浅口市では年度始めの委嘱式に合わせて推進員の役割を確認する研修を行いました。

Q1. ボランティアの顔ぶれがいつも同じです。もっとたくさんの方にボランティアに参加してもらうにはどうしたらいいですか？



Q1の質問に対する回答

※経験のない方は、何のために頼まれたのかが分かっていなかったり、面倒なことを頼まれたと思っていたりする方が多いようです。

○活動のねらいを分かりやすい言葉で説明しましょう。

「この活動がなぜ必要か」「この活動で子どもたちはどのようなことができるようになるのか」など、活動の目的や先生の授業への思いを分かりやすい言葉で伝えましょう。

○子どもと活動を共にする喜びを実感できる機会を地道に増やしていきましょう。

「大人が子どもを育てる」から「大人も子どもも一緒に育つ」へと活動も変わっていかなくてはなりません。子どもと活動する喜びを実感できる機会を少しずつ増やしていきましょう。

Q2. ボランティア活動を長く続けてもらうにはどうしたらいいですか？



Q2の質問に対する回答

○ボランティアが気軽に集えたり、ボランティア同士の仲間づくりができたりする場をつくりましょう。

空き教室やちょっとした空間を利用して、子どもの様子が感じられる場所や居心地の良い空間を作りましょう。

○「あなたにしかできない。」「あなただからお願いしたい。」を見つけて活かしていきましょう。

「〇〇さんの笑顔や温かい言葉かけがいつも子どもたちを励ましていますよ。」など、その人らしさや良いところを引き出す、気付くような意識で関わってほしいです。

Q3. 一緒に活動を考えてくれる人がいてほしいです。どうしたら推進員の活動に興味をもってもらえますか？



Q3の質問に対する回答

※担い手不足は推進員の責任ではありません。社会全体の問題です。

○「ちょっと手伝って。」と声をかけて、自分の分身をつくりましょう。

推進員が孤立をすることは、悲しいこと+危険なこと。推進員は「ちょっと手伝って。時間ある？」と言いながら自分の分身をつくっておきましょう。

○コーディネート業務や活動等の見える化をしましょう。

推進員は黒子となり、普段見えにくい（気付きにくい）ことをしていることが多いです。業務や活動でどんな喜びを感じているのかなどを情報発信していきましょう。